

The Izawaniwa Rice Planting Festival is designated as a folkloric cultural asset and, along with those of Katori Shrine in Chiba and Sumiyoshi Grand Shrine in Osaka, is one of the three main rice planting festivals in Japan. The Festival takes place on June 24 every year. First, a large bamboo structure is lowered into a rice paddy where village men fight to take home pieces of the "holy bamboo". Then, the rice planting is conducted following a strict traditional style, while serene Dengaku music is played. Finally, people dance toward the Ichinotori Gate as the Festival climaxes.



竹取神事(TAKETORISHINJI)

松竹梅、太陽、月、千石船などが描かれた団扇（＝サシバ）が付けられた忌竹を、男たちが泥だらけになりながら奪い合う。



御田植神事
(OTAUESHINJI)

田道人と早乙女たちがおごそかに早苗を植えていく素朴な神事は、太鼓打ちや笛吹きらが奏でる田楽と謡に合わせて、優雅にとり行われる。



踊込み(ODORIKOMI)
あふれる観衆の中を、
神事を終えた役人たち
が伊雑宮の一の鳥居へ
と向かう。



白真名鶴の伝説がその起源と伝えられる伊雑宮御田植祭は、千葉の香取神宮、大阪の住吉大社とともに日本三大御田植祭の一つに数えられ、磯部に初夏の到来を告げる。勇壮な男たちが大きな団扇のついた忌竹を奪い合う竹取神事、古式ゆかしい装束に身を包んだ太鼓打ちや能智らによる田楽が響きわたる中、白い着物に赤いたすき掛けをした早乙女たちによつて厳かに行われる御田植神事、その後、一の鳥居に向けて行われる踊込みと、祭りはいくつもの情景を私たちに見せてくれる。この神事が現在の形になつたのは江戸時代初期と考えられ、その起源は平安末期か鎌倉初期と伝えられている。太古より脈々と受け継がれてきた伝統と歴史の積み重ねに生まれた、甚嚴重な時代絵巻が繰り広げられる。



いざわのみや
伊雑宮(IZAWA-NO-MIYA-SHRINE)
(いぞうぐうともいう)
伊勢神宮内宮の別宮の中でもとりわけ
高い格式を誇る。

御田植祭 利鳥差數え唄

（おくわか）

一つ日の本神代の昔

ニツ不思儀にかの真名鶴が

三ツ瑞穂をくわえて来たる

四ツ世の中五穀のはじめ

五ツ磯部はその元をかし

六ツ昔の儀式の舞を

七ツ鳴りもの謡に乙女

ハツやあはあの声うち揃わせて

九ツこの田を首尾よく植えて

十で豊けき秋祈るなり

伊雑宮

御田植祭

日本三大御田植祭

指定重要無形民俗文化財（指定名 磯部の御神田）

伝統に息づく
大地の鼓動が聞こえる。

毎年6月24日

ACCESS

●車をご利用の方

東京	東名高速道路 230km 約4時間	浜松 IC	R1, R42 81km 約1時間50分	伊良湖	伊勢フェリー 約55分	鳥羽	パールロード 18km 約35分	磯部
名古屋	東名阪自動車道 65km 約1時間10分		伊勢自動車道 57km 約45分			R167 15km 約20分		
京都	名神高速道路 22km JCT 約50分	新名神高速道路 50km 関山 JCT 約18分 JCT 約50分	伊勢関 IC	伊勢自動車道 57km 約45分	玉城IC	伊勢二・二見・鳥羽ライン 第二伊勢道路 R167 22km 約25分	磯部	
大阪	西名阪自動車道・R25 120km 約2時間				伊勢自動車道 11.3km 約11分	伊勢道路 17km 約30分		
					県道169号(セニーロード) 24km 約35分			

●電車・バスをご利用の方

東京	新幹線 約2時間	名古屋	津	中部国際空港(セントレア)	鳥羽	磯部	伊雑宮
京都		近鉄特急 約50分	津工ポートライナー 津約40分		近鉄特急 約15分	車 約3分	
神戸(三宮)	阪神なんば線 快速急行 約40分	JR(快速みえ) 約50分	JR(快速みえ) 約35分	JR(快速みえ) 約15分	JR(快速みえ) 約15分	徒歩 約20分	
関西国際港	連絡バス 約50分			近鉄特急 約20分		徒歩 約3分	
			近鉄特急 約2時間40分				
			大阪上本町	近鉄特急 約2時間20分			
		尼崎					

お問い合わせ

一般社団法人志摩市観光協会
三重県志摩市阿児町鵜方1670-2(近鉄鵜方駅改札階)
TEL 0599-46-0570 FAX 0599-46-1113

6/24 伊雑宮御田植祭 タイムスケジュール

竹取神事(御料田) 11:20頃～

御料田に立てられた忌竹を裸男たちが泥だらけになって奪い合う。团扇(=サシバ)に描かれた宝珠は「青ノ峰(=青峰山)の金の珠(=魂)」であり、太平洋の荒波をこなす漁師たちの迫力ある姿が起源であると言われている。

竹取神事終了後

御田植神事(御料田)

荒れた御料田がならされた後、謡、田楽が流れる中、田道人と早乙女が交互に手を取り合い早苗が植えられていく。竹取神事の迫力ある光景とは一転し、清々しくも荘厳な雰囲気が御料田に漂う。

御田植神事終了(13:00頃)

踊込み(参道から一の鳥居) 15:00～

御料田に参進した役人一同が、鳥居前に整列すると「めでためでた」の唄声につれ、祭りのフィナーレである踊込みが始まる。一同は伊雑宮の一の鳥居までの約200mの距離を約2時間かけて練り歩き、千秋楽の仕舞で終了する。

しろまなづる 白真名鶴の伝説 column

あまたらすおとみかみ 天照大神にお供えする幸を求めて、倭姫命の一行が訪れたとき、一羽の「白真名鶴」がみごとな稲穂を落としたとされ、これを供えて造られた宮が現在の「伊雑宮」だと伝えられています。また、この白真名鶴の靈をまつた「佐美長神社」は別名を「穂落宮」とも呼ばれ、人々に親しまれています。